

テーマ「壁」によせて

言の葉大賞[®] 実行委員長 柿本遼平

皆様におかれましては、日々深刻になるコロナ禍の中大変ご苦労も多い事かと拝察いたします。また、罹患されました皆様には心よりお見舞い申し上げます。

昨年の第10回言の葉大賞では過去最多応募となる三万五千三百三十八点の作品をいただきました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大により緊急事態宣言が発令され、私たちの日常生活が制限される状況となりました。学校現場では休校に伴う授業時間の短縮、さらには夏休みの短縮と、教育機関の皆様にとつて厳しい状況にもかかわらず、最終的に二万八千五百二十八点のご応募を頂戴し、大変有り難く思います。初めてご応募いただいた学校も三百四十四校あり、当事業にご賛同いただき感謝しております。

さて、今回の「壁」というテーマは、それぞれ異なった視点を見ることができ、大変興味深かつたです。心理的な壁から物理的な壁まで、一つとして同じシチュエーションの作品はありませんでした。特に、目に見えない心理的な壁を表現する作品の多くは、一人一人置かれた状況で皆様が闘っているということです。医療現場に従事される方や、自然災害があつた地元に住まれる方、会いたくても会えない状況で新たな関係性を見出す方、それぞれの方がしっかりと壁に向き合い、その壁をどのように打開しているのかをこの作品集を通して発見してみてください。

